

□家族が新型コロナウイルスに感染した場合、もしくは家族、友人など密に関わりをもった人が濃厚接触者である場合、まず、登校前に教員に相談する。濃厚接触者と特定された場合は、出校停止となるが、濃厚接触者と の接触がある場合も、同様の措置をとる場合もある。

□毎朝の検温、風邪症状など有無を確認する。37.0 度以上の熱、倦怠感、息苦しさ、味覚を感じない、など、症状がある場合、登校前に教員に連絡し、欠席する。その場合、必ず最寄りの保健所等に相談し、受診する。37.0 度以上の熱がなくても、その他の症状がある場合も同様とする。

□自分が感染者もしくは濃厚接触者と特定された場合、出校停止となる。さらに、学生が感染した場合は、臨時 休校が検討される。

□学校内での感染予防対策

①換気の悪い密閉空間を避ける

- ・授業は可能な限り、窓を開けた状態で行う
- ・90分授業の間、1～2回換気を行う
- ・授業終了後は、一斉に窓を開け、10分間の換気を行う

②多くの人が密集することを避ける

- ・多くの学生が密集する行事等は、可能な限り延期もしくは中止、不参加とするよう計画を変更する
- ・昼食は、個人で席を動かさずに食べる。他人の食べたものを食べたり飲んだりしない。箸やスプーンを共有しない。
- ・学生で、公共の交通機関を利用する場合、可能であれば、密集しない時間帯を選ぶなど工夫する。

③近距離での会話・発声を避ける

- ・グループワークや技術練習時など会話や、人と密着するような授業の場合、マスクを着用し、近寄りすぎないように気を付けて会話する。技術練習も同様に気を付ける。

□その他、校内で気を付けること

①手洗い：学校にきた時、昼食前など要所要所で石鹸を用いて手洗いをする。可能であれば、ハンドタイプの手指消毒用アルコールを携帯するとよい。清潔なハンカチ・タオルを毎日持参し、友達と共有しない。

②咳エチケット：咳が出る場合、必ずマスクを使用する。咳が出ていない場合も可能であれば、マスクを常時使用することが望ましい。マスクが手に入らない場合は、手作りマスクを作成するか、ハンカチやタオルを代用するなどよい。

③掃除を徹底する。感染予防の目的で、夕方の掃除を徹底する。机、窓のサンなど埃がたまりやすい場所の拭き掃除をする。

□家庭で気を付けること(免疫力を高めることが必要)

- ・睡眠を十分とる 学習と休息の時間を十分に確保するため、だらだらとゲームやテレビを見ず、課題をしたらずぐに寝る。
- ・十分に栄養を取る
- ・自宅に帰ったら、手を洗う。

□不要不急の外出や人との接触を避ける

休日、放課後を利用した、旅行やレジャー(カラオケ、映画含む)、外食などは当面の間は自粛する。また、夜は自宅で過ごし、外出しない